


水分・塩分補給だけでは解決できない熱中症の問題



過酷な暑熱環境下での
活動が避けられない人達

熱放散能力↓
・汗が蒸発しない
(無効発汗量の増加)

≡
熱中症
ハイリスクグループ



熱中症弱者

体温調節機能↓
・汗をかけない
・熱を逃がせない

深部から体を冷やす解決策が必要

熱中症対策への新たな期待



> > > > >

氷よりも流動性がある

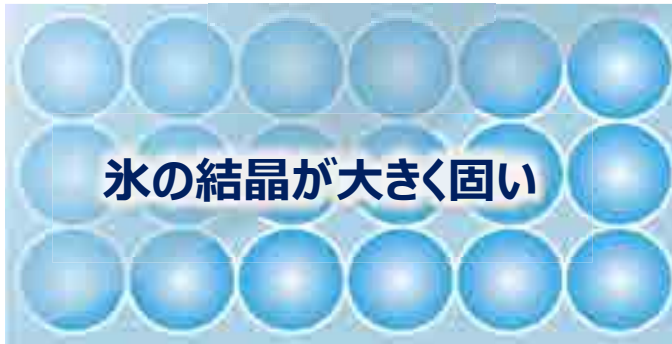


< < < < <

水よりも冷却能力がある

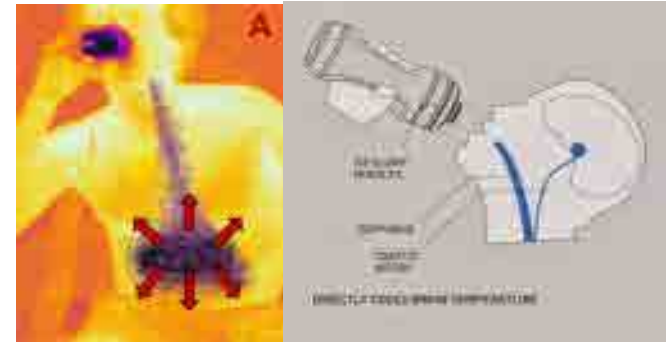


通常の氷



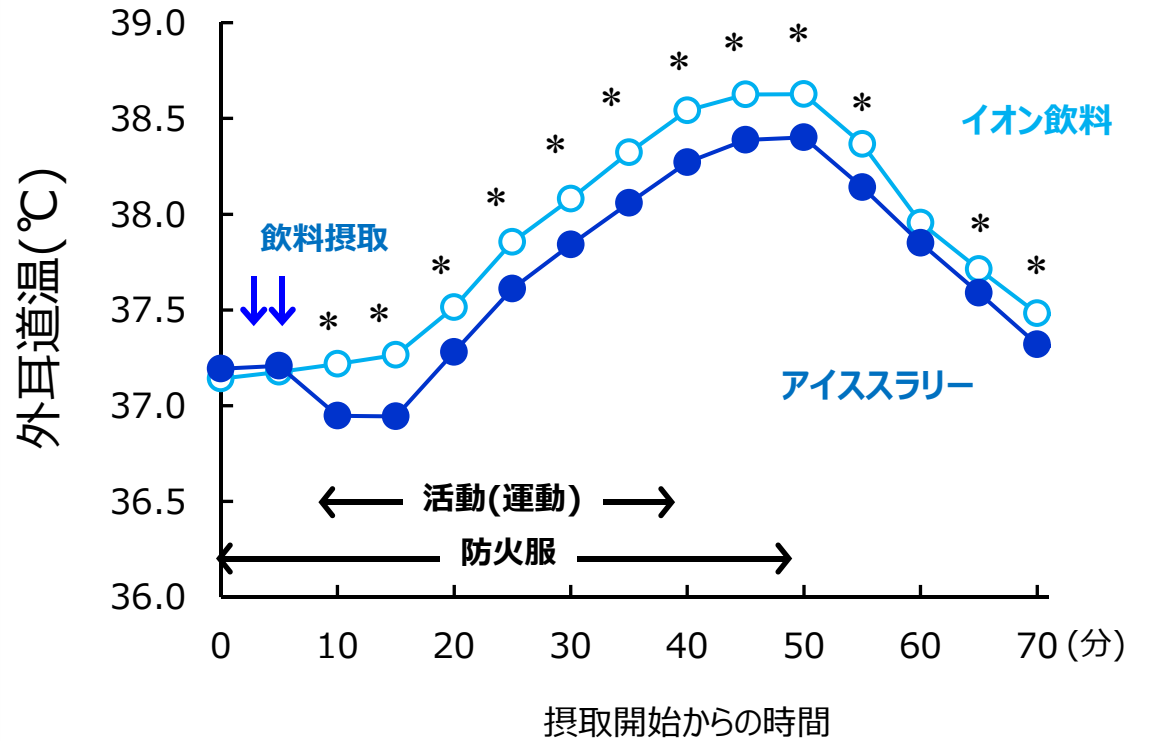
アイススラリー

>



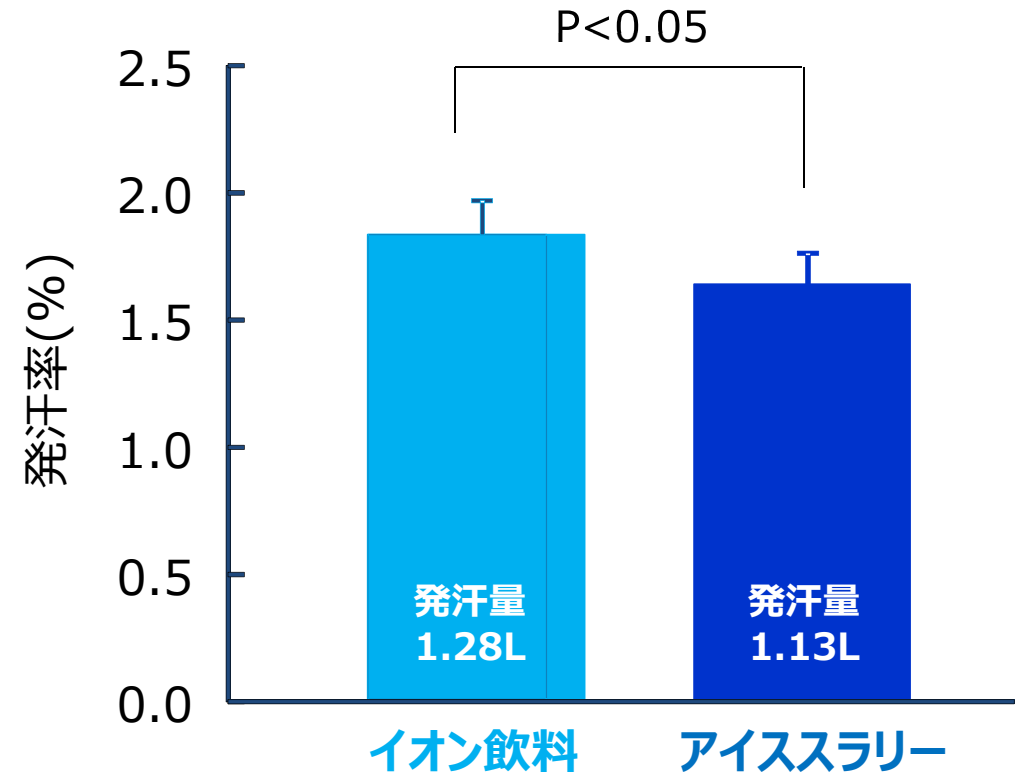
熱中症対策におけるアイススラリーの有用性

活動時の深部体温上昇抑制



N=12 Mean±SE
*P<0.05

脱水の抑制



N=12 Mean±SE

各業界での熱中症対策の取り組み事例



産業



エンタメ



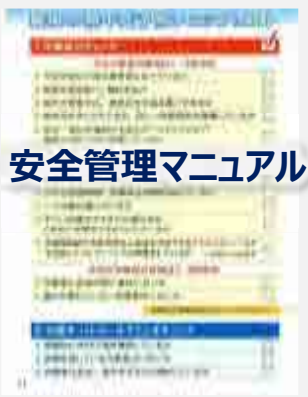
スポーツ

仕事開始直後から昼休み前までの
時間で発症が多い
(全体の70%)

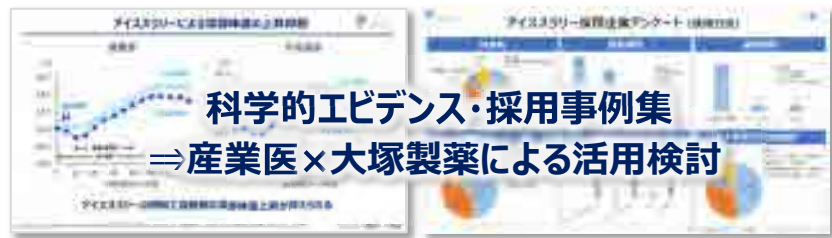
エンターテイナー（ダンサー・着ぐるみ）
の深部体温が30分で1℃上昇
(屋外・WBGT28℃環境下)

高校野球
2023年夏大会から熱中症対策として
5回にクーリングタイムが導入決定

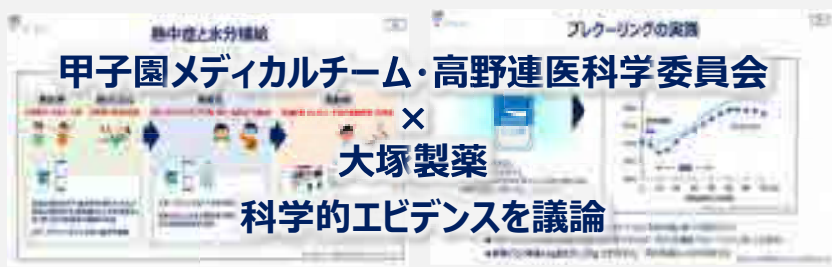
厚労省の通達



使用のルール化による
ポカリスエットアイススラリーの導入



パレード30分前
ポカリスエットアイススラリーの導入



甲子園大会
5回終了後のクーリングタイムに
ポカリスエットアイススラリー導入が決定



熱中症対策アンバサダー講座

2023年7月1日開始

主催：大塚製薬株式会社

後援：環境省

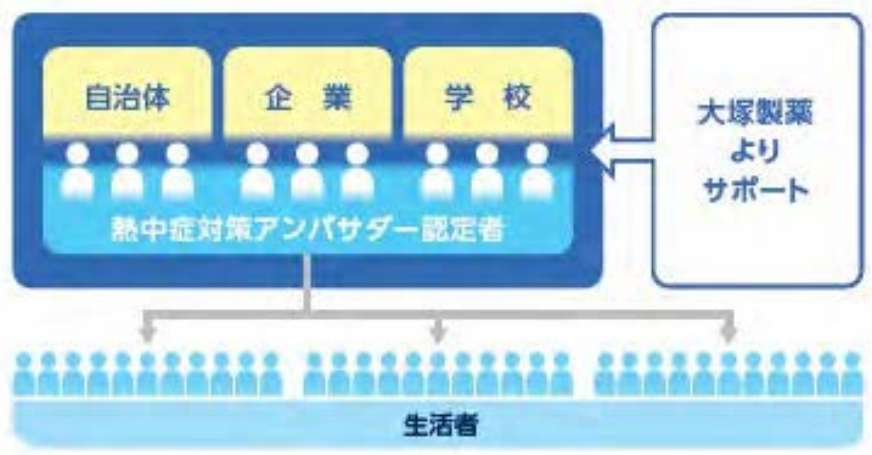
実施概要

- 受講資格：どなたでも受講いただけます
- 受講料：無料（有効期限なし※）
- 開講期間：2023年7月～2023年12月

講義内容詳細

	講義Ⅰ	講義Ⅱ	トピックス
	熱中症「0(ゼロ)」を目指して 資料監修：中京大学 教授 松本孝朗先生		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 熱中症について知る 熱中症はどのように起こるか 外的要因 カラダのメカニズム 体温調節 熱中症と思われた時の処置 熱中症対策の歩み・熱中症の現状 	<ul style="list-style-type: none"> ● 熱中症対策 年代別・環境別の熱中症予防 日常生活での対策 (水分補給のタイミング) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「気象予報士と学ぶ！熱中症対策動画」 制作：NPO法人気象キャスターネットワーク 協力：大塚製薬 (8分40秒) <p>※確認テストの範囲には含まれません</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・「熱中症保健マニュアル2022（環境省）」 ・「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック（日本スポーツ協会）」 の内容に準拠しています 		

熱中症対策アンバサダーの活動イメージ



「集合研修」

「オンデマンド」

「LIVE配信」

の3パターンをご用意

